

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

9月のアルミ概況および10月の見通し (1)

予想レンジ

LME現物後場買い2,000~2,200ドル
スクラップ 0~+5円 (前月最終価格より)
為替 140円~145円 円安

(1か月間TTM)

■国際概況

前半はエネルギーコスト高騰を受けた精錬所操業度の低下が続いたこと、米失業率上昇によりFRB利上げペースが鈍化するのではないかと期待などのプラス材料もあったが、中国の新型コロナウイルス関連規制の強化やロシアの欧州向け天然ガス無期限供給停止や米国の8月CPIが事前予想を上回る8.3%の上昇を記録したことを嫌気しDOWN。

9月15日時点で2,309ドル(セツル)と月初価格から59.5ドルDOWNの前半締めとなった。

後半はFOMC利上げ後の修正から買い戻しやトラス英首相の大幅減税訂正会見などのプラス材料があったが連邦準備理事会(FRB)は考えられていた以上にタカ派との見方だったことを嫌気しDOWN。

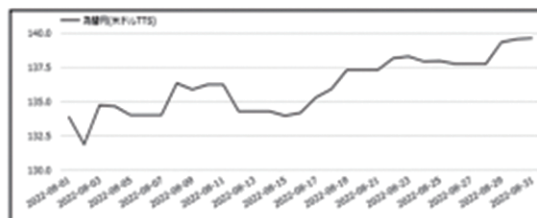
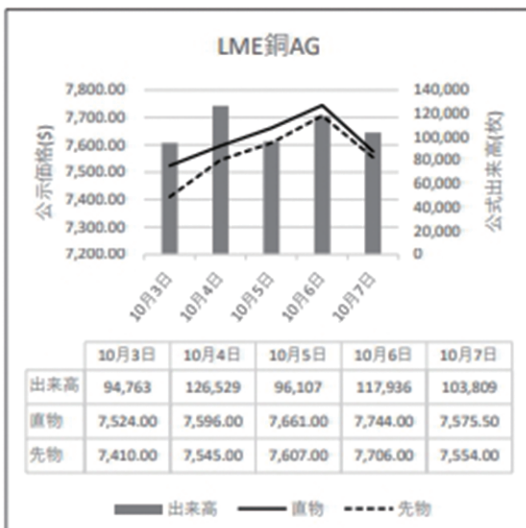
9月末日現在、後半スタート価格11ドルDOWNの2,261ドル。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート (TTS)

140.53→145.81 (円)

LME公式値週間推移 10月3日~10月7日(現地)



出典 MIRU

■国内指標

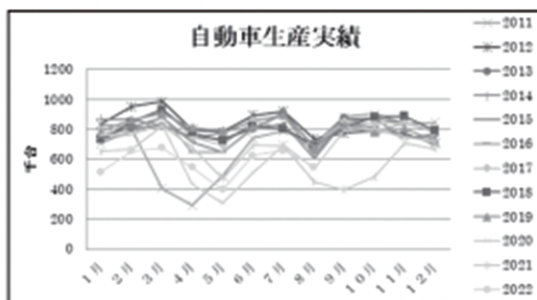
◆自動車生産台数

生産動態統計によると8月の自動車生産台数は前年比+22.3%の55万1,799台。

輸出は、前年同月比+15.3%の27万182台。

	6月	7月	8月
生産台数	62万63721台	65万79401台	55万1799台
前年比	-9.8%	-4.5%	+22.3%

◆自動車生産実績



出典 生産動態統計

(次号へ続く)

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikkin202210

